

R18
Adult only

赤緒
の
敗
北
貳







——数日前のこと。

「大丈夫です！ 蒼旗くんは私が守ります！」

赤緒は義理の弟である終蒼旗にそう言って抱きしめた。

アンヘルの戦闘に巻き込まれ、
不安そうにしていた彼を安心させるためだ。

「だって私は蒼旗くんのお姉さんですから！」

両兵もいなくなり、かつての仲間もおらず、
赤緒自身も不安だった。

だがその不安を押し殺し、
姉として弟を守ると決心したのだった。



——そして今。

守ると誓った弟が人質に取られ、
赤緒は彼の目の前で犯されている。

「どうだ彼氏の前でヤラれる気分は!？」

敵の男たちは蒼旗のことを
弟だと気づいていなかった。

「蒼旗くん、はっ、彼氏じゃ——っ」

そう否定する赤緒を男が
ピストン運動で黙らせる。

「ひうッ!」

赤緒は歯を食いしばり、必死に耐える。

(お姉さんだから——耐えなきゃ——)

(これ以上、蒼旗君を不安にさせないっ)

蒼旗のために必死に耐えるのだった。



「うっ、出るッ……！」

「なっ、いやああああッ！」

男が不意に赤緒の中に出す。

これで二度目だろうか。

二度も好きでもない男に
中出しされた。

その事実は赤緒を絶望させる。

「た、たまんねえー……っ」

男はそんな彼女をよそに
どくん、どくんと、
精液を中へと流し込んでいく。





「ふー、たっぷり出た」

「ここまでの女は久々だ」

男の好き勝手な物言いに
赤緒は怒りで眉を寄せる。
その時だった。

「あ、赤緒さん……」

消え入りそうな声で、
蒼旗が赤緒を呼んだ。

それを聞いた赤緒は
はっとし――

「大丈夫ですよ蒼旗くん」

赤緒は人質の蒼旗に
優しい笑顔を向ける。

「お姉さんは平気ですから！」

そんな姉弟のやりとりをよそに
男たちは雑談をしている。

「そろそろ引き上げ？」

「いやまだヤレるぜ」

よーし、とまた別の男が
赤緒に覆いかぶさる。

「さーて、次は俺の番っと」

そう言って、男は赤緒の恥部に龟头を押しつける。

「なっ——」

赤緒は男の性器の大きさに絶句する。
先ほどの男のそれとは比較にならないほど、
大きく長かった。

「や、やめてください！ そんなの入らな——」

「安心しろって。すーぐ気持ちよくなっからよお」

男は赤緒の制止の声を無視し、
中へとペニスをねじ込んでいく。





「そらっ！」

ずん、と
男が勢いよく挿入する。

「かはっあ———！？」

その衝撃に赤緒の体が跳ねる。
巨乳も大きく揺れ、声も上がった。

その反応によって興奮したのか、
赤緒の中で巨根がより大きくなる。

「あっ、は——」

赤緒は一瞬意識が飛びそうになる。
男のペニスはそれほどモノだった。



「ひひっ、どうよ俺のは？」
「俺のを飲み込んだ女はそういな——」

挿入した男がそう笑っていると、
赤緒は睨み、言い放つ。

「別に、何も感じませんっ……！」

声を震わせ、涙をこらえながらも、
赤緒は強い口調で続けた。

「あなたの、ようなひどい人たちに——」

「何をされても気持ち悪いだけです！」

弟の蒼旗の前でこれ以上、
弱いところは見せない。

その強い決心が赤緒を奮い立たせていた。

「いいねえ、強気な女は好きだ」
「まだまだいけそうじゃん」
「なら複数人でも平気だよなあ？」

強気な言葉を聞いて男たちが、
赤緒に群がる。

おっぱいを揉んだり、
顔や胸にペニスをおしついたり
と好き勝手なことをする。

「ううっ……！」

その気持ち悪さに赤緒は顔を歪める。

「あなたたち本当に最低ですっ！」

優しい赤緒には珍しい暴言が出る。

「威勢がいいねえ」

「飽きるまで犯してやるよ」

男たちは実に楽しそうに笑った。





赤緒は集団レイプされた。
口にペニスを突っ込まれた。
おっぱいをわしづかみにされた。
今までにない巨根に何度も子宮を突かれた。
人質の蒼旗にはそう見えた。
見ることはできなかった。
「んんっ！ ンぐっ、んあああッ！」
ただ当の赤緒はわけがわからなかった。
先ほど処女を失ったばかりの彼女が、
3P以上の行為に耐えられるはずがなかった。
「赤緒ちゃん最高だよ！」
「おら！ ちゃんとしゃぶれや！」
「デケエ乳揺らしてんじゃねーよ！」
男たちはお構いなしに赤緒を犯す。
何度も、何度も、何度も――。



「おい、そろそろ引き上げだ」

「おー、長かったな」

「思った以上にアンヘルが抵抗してな」

「そっちも終わったとか？」

「おう、赤緒ちゃん気絶しちゃった」

「おいおい、大事にしろよ〜」

「俺らの無料娼婦になるんだからよ」

ガラガラと男たちが笑う。

その足元に激しい輪姦によって
気絶した赤緒が倒れている。

精液まみれたその無様な姿からは、
先ほどまでの気の強さはなかった。

赤緒は男たちのアジトへ連れてかれる。

そこで性奴隷となるか、
それとも仲間の助けが来るのか――